

# 2026 年 りんご病害虫防除暦



JA 中野市園芸課

【展着剤の選択】展着剤ハイテンパワーに替えてササラ 2,000 倍を使用しても良い。（薬液の広がり、散布後の乾きがよくなる。汚れ軽減）

回数	散布日	散布時期		散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用 時期	使用 回数	散布量 ℓ/10a	対象病害虫	注 意 事 項
1	月 日	3 月中下旬 * 発芽前	体系を 選択	(水 88ℓ) スプレーオイル 2 ℓ 石灰硫黄合剤 10 ℓ (水 98ℓ) トップジン M 水和剤 100 g スプレーオイル 2 ℓ	発芽前 休眠期  前日 発芽前	— —  6 回 —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 休眠期の防除は、石灰硫黄合剤体系かトップジンM水和剤体系 のどちらかを選択する。 ② 【カイガラムシ類対策強化】 アブロードフロアブルの 1,000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
2	月 日	4 月上旬 * 展葉後		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	14 日前	4 回	300	黒星病 (うどんこ病)	① 【うどんこ病対策】 コロナフロアブルの 400 倍(－、－)を加用する。
3	月 日	4 月下旬 * 開花期		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ロムダンフロアブル 33 mℓ ミギワ 20 フロアブル 25 mℓ	前日 前日	2 回 3 回	400	黒星病、うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類、キリガ類 シャクトリムシ類	① 【代替】ロムダンフロアブルに代えてサムコルフロアブル 10 の 5,000 倍(前日、3 回)でもよい。 ② 【アブラムシ類対策(第 4 回散布)】 ウララDFの 2,000 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ③ 【シンクイムシ類対策】 5 月上旬にナシヒメコンを 10a 当たり 100 本設置する。
4	月 日	5 月上旬 * 落花後		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ カナメフロアブル 25 mℓ	前日	3 回	400	黒星病、うどんこ病、赤星病 黒点病	
5	月 日	5 月中下旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ キラップフロアブル 50 mℓ ジマンダイセン水和剤 200 g	14 日前 30 日前	2 回 3 回	400	黒星病、黒点病、褐斑病 アブラムシ類、カメムシ類 ギンモンハモグリガ、キンモンホ ソガ、モモシンクイガ	① 【幼果カルシウム補給】 カルタス 1,000 倍を加用する。 目安: 第 5 回～9 回の 5 回連続散布 ② 【腐らん病 対策】 あら摘果終了直後の定期散布に、トップジンM水和剤の 1,500 倍 (前日、6 回)を加用する。
【黒星病、リンゴワタムシ(カイガラムシ類)対策 特別散布】 5 月末に、トレノックスフロアブルの 500 倍(30 日前、5 回)とダイアジノン水和剤 34 の 1,000 倍(30 日前、4 回)を特別散布する。									
6	月 日	6 月上旬		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ コルト顆粒水和剤 33 g アントラコール顆粒水和剤 200 g ダイアジノン水和剤 34 100 g	前日 45 日前 30 日前	3 回 4 回 4 回	500	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭疽病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 カイガラムシ類 リンゴワタムシ、アブラムシ類	① 【炭疽病、輪紋病、褐斑病等 重点防除期間】 (6月～8月) 散布ムラが無いように、樹全体に万遍なく散布する。 ② 【カメムシ対策】ダイアジノン水和剤 34 に代えて、スミチオン水和 剤 40 の 1,000 倍(30 日前、3 回)を使用する。
7	月 日	6 月中下旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25 g ベランティーフロアブル 12 mℓ オキシラン水和剤 200 g	前日 14 日前 14 日前	3 回 3 回 4 回	600	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病 うどんこ病、黒星病、褐斑病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ケムシ類 リンゴワタムシ カイガラムシ類、アブラムシ類	① 【炭疽病対策 強化】オキシラン水和剤に代えて、キノドー顆粒 水和剤の 1,000 倍(14 日前、4 回)とオーソサイド水和剤 80 の 800 倍(前日、6 回)を加用する。 ② 【カメムシ対策】モスピラン顆粒水溶剤の倍率を 2,000 倍にする。 ③ 【代替】ベランティーフロアブルに代えて、オンリーワンフロアブル の 2,000 倍(7 日前、3 回)でもよい。
8	月 日	7 月上旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(スカッシュ) 100 mℓ バイスロイドEW 50 mℓ フリントフロアブル 25 50 mℓ エコマイト顆粒水和剤 50 g ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	7 日前 前日 前日 14 日前	4 回 4 回 1 回 4 回	600	輪紋病、炭疽病、褐斑病 腐らん病、斑点落葉病、黒星病 シンクイムシ類、キンモンホソガ、カメムシ 類、ハマキムシ類、ギンモンハモグリガ ハダニ類	① 【輪紋病対策】 IC ボルデー412 の 30 倍を 7 月初旬に特別散布 する。ただし、早生種には散布しない。(汚れ)
9	月 日	7 月中下旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ マイトコーネフロアブル 100 mℓ キノドー顆粒水和剤 100 g オーソサイド水和剤 80 125 g オリオン水和剤 40 100 g	前日 14 日前 前日 前日	1 回 4 回 6 回 2 回	600	輪紋病、炭疽病、黒星病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類、シンクイムシ類、 ハマキムシ類、カイガラムシ類 キンモンホソガ	① 【代替】 キノドー顆粒水和剤に代えて、ベルクートフロアブル の 1,500 倍(前日、3 回)でもよい。 ② 【カメムシ類 発生園】 キラップフロアブルの 2,000 倍(14 日前、2 回)を特別散布する。
【炭疽病 対策 特別散布】 オーソサイド水和剤 80 の 800 倍(前日、6 回)を特別散布する。 尚、散布間隔は前回から 7～10 日後とする。									
10	月 日	8 月上旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ エクシレルSE 20 mℓ ダイパワー水和剤 100 g	前日 前日 前日	3 回 3 回 3 回	600	輪紋病、炭疽病、黒星病、褐斑病、 斑点落葉病、シンクイムシ類、ケムシ類 キンモンホソガ、コガネムシ類、 ハマキムシ類、カイガラムシ類、 リンゴワタムシ、コアオカスミカメ	① 【シンクイムシ類、カメムシ類対策】 エクシレル SE に代えて、イカズチWDGの 1,500 倍(前日、2 回) を使用する。 ② 【ハダニ類対策】 コロマイト乳剤の 1,000 倍(前日、1 回)を加用する。
11	月 日	8 月中下旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ナリア WDG 50 g バリアード顆粒水和剤 50 g オマイト水和剤 133 g	前日 前日 3 日前	3 回 3 回 1 回	600	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病 腐らん病、褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、カメムシ類、ハダニ類 シンクイムシ類、リンゴワタムシ (キンモンホソガ、ギンモンハモグリ ガ、コナカイガラムシ類)	① 【ドリフト注意】 オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、 飛散しないようにする。
12	月 日	9 月上旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ イカズチWDG 66 g オーソサイド水和剤 80 125 g	前日 前日	2 回 6 回	500	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、ハマキムシ類 シンクイムシ類、キンモンホソガ、ギン モンハモグリガ、カメムシ類	① 【ハダニ類対策】 ダニオーテフロアブルの 2,000 倍(前日、1 回)を加用する。 尚、散布の際は銅剤(キノドー)散布の 45 日後以降とする。 ② 【汚れ軽減】 通常展着剤に代えて、スカッシュの 2,000 倍または ササラの 2,000 倍を使用する。
13	月 日	9 月中旬 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ダントツ水溶剤 50 g アリエッティC水和剤 125 g	前日 前日	3 回 3 回	500	すす点病、すす斑病、褐斑病 斑点落葉病、黒星病、炭疽病、 輪紋病、シンクイムシ類、ケムシ類 カメムシ類、ギンモンハモグリガ、 コガネムシ類、コナカイガラムシ類	① 【シンクイムシ類対策強化】 ダントツ水溶剤に代えて、モスピラン 顆粒水溶剤の 2,000 倍(前日、3 回)を使用する。 ② 【汚れ軽減】 通常展着剤に代えて、スカッシュの 2,000 倍または ササラの 2,000 倍を使用する。
14	月 日	9 月末 * 前日から 14 日以内		展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ クミガード SC 100 mℓ	—	—	500	炭疽病 すす点病、すす斑病	① 【代替】 クミガード SC に代えてストライド顆粒水和剤の 1,500 倍 (前日、3 回)を使用してもよい。 ② 【シンクイムシ類、ハスモンヨトウ対策】 エクシレルSEの 5,000 倍(前日、3 回)を加用する。
【すす点病、すす斑病対策 特別散布】 10 月上旬にクミガード SC の 1,000 倍(－、－)または、ベルクートフロアブルの 1,500 倍(前日、3 回)を特別散布する。 尚、散布間隔は前回から 7～10 日後とする。									

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します。